

会 議 録

会議名	令和4年度 第1回 宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和5年2月9日(木) 13:30~15:00
開催場所	宇都宮市役所 14A会議室
出席者	<p>【委員】今野哲也, 高橋英樹, 菅野大造, 柴田賢司, 久保井永三, 白石智子, 石川順章, 浅海伸子, 野澤克子, 増淵祥子, 上野すみ子, 竹井正浩, 野尻昌彦, 福田光子 計14名</p> <p>【事務局】環境部長, 上下水道局技術担当次長, 上下水道局施設担当副参事, 環境部次長, 環境政策課長, 環境政策課総務担当主幹, 環境保全課長, 廃棄物対策課長, ごみ減量課長, 廃棄物施設課長, 下水道管理課長, 下水道建設課長, 水質管理課長, ごみ減量課課長補佐, 廃棄物施設課長補佐, ごみ減量課職員6名, 下水道管理課職員2名</p>
公開・非公開	公開
傍聴者	2名(下野新聞 1名, 一般傍聴者 1名)
議題	<p>1 会長選出, 職務代理者指名</p> <p>2 クリーンパーク茂原の火災について</p> <p>3 一般廃棄物処理計画における令和4年度の実績及び令和5年度実施計画の策定について</p>
会議結果	<p>1 委員の互選により柴田賢司委員を会長に選出。柴田賢司会長が白石智子委員を職務代理者に指名。</p> <p>2 議事について了承。</p> <p>3 議事について了承。</p>

主な質疑応答	
クリーンパーク茂原の火災について	
高橋英樹委員	クリーンセンター下田原で処理しきれない焼却ごみについて, 外部に処理を委託したということだが, 委託費用と運搬費用がどのくらいかかったか教えていただきたい。
事務局	令和4年2月から12月の11ヶ月間で他の自治体や民間施設に委託した処理費用と運搬費用で約41億円かかっている。
高橋英樹委員	市民の協力があって焼却ごみの約1割が減量された。ごみ削減とそれに伴い外部処理にかかった費用が削減できたということを数字で発信することで, 市民が協力した成果を実感できると考える。そのような数字・金額を意識啓発に活かしていただきたい。
事務局	分かりやすい情報の発信に努めていく。
浅海伸子委員	クリーンパーク茂原の火災について, 施設を復旧するまでの総工費はどれくらいかかったのか。
事務局	復旧工事の経費として10億6,600万円余がかかっている。また, 「再発防止策」として, 現在, 工事に着手しているものもあるなど, その他の経費もある。

一般廃棄物処理計画における令和4年度の実績及び令和5年度実施計画の策定について

今野哲也委員	多くの紙の資料が配布され、説明だけを聞いて意見をいうのは困難であると思う。ポイントをモニターに映し、分かりやすく説明していただきたい。 計画の内容については素晴らしいと思う。
事務局	今後、資料の電子化について進めているので、モニターについても活用していきたいと思う。説明に当たっても、ポイントがわかりやすいように取り組んでいく。
浅海伸子委員	危険ごみを電池類とその他危険ごみに分けるとのことだが、半透明の袋で排出すると中が見えにくく、収集業者がどちらの袋か判断に迷うのではないかと。
事務局	外から見て電池類とその他危険ごみが分かるような形で排出していただきたい。外から中身が見える透明、または半透明の袋であれば収集できる。今後は新聞折込チラシなどを使って周知啓発を進めていく。
石川順章委員	「さんあ〜」について、ダウンロード数だけでなく、実際に利用しているアクティブユーザー数についても計測してはどうか。計測できれば重要な指標になると思う。
事務局	現行計画ではダウンロード数を取組指標としている。次期計画策定時には意見を参考に活用できるようにしていきたい。
柴田賢司会長	より生きた数値を使うようにということですね。
久保井永三委員	地域によってはカラスが増えている場所がある。「カラス対策ハンドブック」はいつ頃配布されるのか。
事務局	「カラス対策ハンドブック」については、令和4年12月から、市のホームページに掲載している。配布ではなく、ホームページをご覧くださいという方法をとっている。
柴田賢司会長	ホームページからダウンロードして見てくださいとのことですね。
高橋英樹委員	一人1日当たり家庭系ごみ排出量について、令和4年度は推計値を下回る見込みであり、更に令和7年度の短期目標を達成するというところで、これまで推計値を達成できないことが続いていたが、クリーンパーク茂原の火災の影響で市民の皆さんから相当な協力・理解を得た結果であると思う。 廃食用油について、昨今のガソリン価格の高騰もあり、全国的に資源化が進んでいると思う。資源化することで水質悪化の抑制にも繋がると思うので、廃食用油の資源化については力を入れるべきである。来年度何か具体的な取り組みがあれば教えてほしい。また、来年度から保育園等の施設の紙おむつを一括回収して処分するというところで、来年度の取組として、事業系使用済紙おむつの一般廃棄物としての処理に関する課題の解決と記載があるが、どのような課題があるのか教えていただきたい。
事務局	クリーンパーク茂原の火災に伴い、ごみ減量課ではごみの削減を呼びかけ、結果として約1割のごみ削減に結び付いた。引き続き様々な施策に取り組み、減量化を進めていきたい。 廃食用油については、地区市民センターやスーパーマーケット等に回収ボックスを配置し、現在48か所で回収している。協力いただける店舗があれば拡充する方向で検討している。また、本市では燃料にできる量が集まっていないので、インクやせっけんにリサイクルしている。 保育園の紙おむつの収集・処理については、収集業者が一括して収集に行くので、特に問題となるようなことはないと考えているが、強いて課題をあげれば、使用済み紙おむつの廃棄物としての位置づけが、保育園に限らず福祉や医療事業者によって一部混乱していることである。現在、わかりやすくなるよう、事業系一般廃棄物として整理する方向で検討を進めている。

高橋英樹委員	クリーンパーク茂原の火災はかなりインパクトのある出来事であり、ピンチであったと思うが、それをチャンスに変え、焼却ごみを約1割削減できた実績を今後も継続して更に削減できるような取り組みをお願いしたい。
上野すみ子委員	プラスチック製品そのもののリサイクルについて、ヒアリングで情報収集したことや、今後、先進的モデル形成支援事業への応募をすると記載があったが、取り組みはどの程度進んでいるのか。今後の見通しや現在の検討状況を教えていただきたい。
事務局	令和4年にプラスチック資源循環促進法ができ、市町村においてプラスチック製品の再生利用に取り組むように努力義務が規定されている。今年度は家庭から排出されたごみにプラスチック製品がどの程度含まれているか、組成分析調査を実施し状況把握をした。今後プラスチック製品の回収ができるような方向で検討している。
増淵祥子委員	新型コロナウイルス感染症により、テイクアウトの需要が高まったことで、家庭から排出される弁当の容器が増えたと思う。現在、市では弁当の容器をプラスチック製容器包装として収集しているが、弁当の容器は油污れが多く、プラスチック製容器包装として排出するには多くの水と洗剤を消費することになり、良くないのではないかと。
事務局	クリーンパーク茂原の火災を受け、プラスチック製容器包装の資源化の取り組みに協力いただき、排出量は昨年度より約1割増えた。お弁当類については紙などの代替製品を活用する企業もある。本市としてもプラスチック製品の使用抑制や代替製品の活用を市民・事業者の皆様にご協力いただき、減量・資源化できるような形で取り組んでいきたいと思う。またプラスチック製容器包装の洗い方について動画を発信するなど、様々な手法を使って周知啓発していきたい。引き続き分別にご協力をお願いする。